

概要版

# 静岡市産業振興プラン



平成17年3月

静岡市



# 静岡市産業振興プランの全体像

## 本市産業・経済の現状

- 廃業事業所数が開業事業所数の約2倍に達する
- 全国トップの生産額を誇る特産物、製品が多数（茶、エアコンなど）
- 既存の政令指定都市に比べ農林水産業が盛んだが、担い手問題が進行
- 製造品出荷額は、10年前に比べて約3割減
- 製造品出荷額の約3割を電気機械に依存
- 旧静岡市の地場産業（家具、プラモデルなど）は、業界に強い影響力を持つが停滞が続く



- 旧清水市は、港を中心に県外資本の大工場が集積。電気機械や一般機械、食品製造が基幹業種だが停滞が続く
- 卸売業は旧静岡市の基幹産業で年間商品販売額も県下一だが、10年程前と比べると3割以上減
- 小売業の年間商品販売額は県下一だが、10年程前から2割近く減少
- サービス業は堅調に増加
- 観光客は県下一多いが、その大半が日帰り客
- 外国貿易額全国10位の国際貿易港・清水港を擁する



## プラン策定の視点

### 1 地域間競争に打ち勝つ産業をつくる

- グローバル化の進展  
→ 企業間競争、港湾間競争の激化
- 本市への買い物客の流入減少
- 本市の都市圏人口の減少

### 2 時代の要請に応える産業をつくる

- 少子高齢化の進行
- 環境、安心・安全に対するニーズの高まり
- 情報化の進展
- 消費者ニーズの多様化・高度化

### 3 地域資源を最大限に活用した新産業をつくる

- 市内事業所の廃業増・開業減
- 人口減少



## 本市の強み・特徴

- 豊かな自然があり、気候温暖で住みやすい
- 広域交通ネットワークを有する
- 集客力のあるイベント
- 大型コンベンション施設を有する
- プロサッカーチームのホームタウン
- 日本一の茶の集散地である
- 世界に誇れる企業が立地



- テストマーケティングに適したマーケットを持つまち
- ソフト系IT産業が一定の集積を誇る
- 都市型産業が立地し得る都市機能が集積
- 「フーズ・サイエンスヒルズ」事業が進行中

- 大学など人材供給・育成機能、研究機能が集積
- 産業支援機関・団体が多数立地
- 官民のSOHO支援施設が集積し、創業支援の風土が醸成されつつある
- 民間主導の新産業創出プロジェクトが始動
- 集客力の高い中心商業地がある
- 国際貿易港・清水港を擁する

## 静岡市総合計画における産業・経済分野の都市像

地域が育て世界に挑む創造型産業のまち

## 静岡市が目指すべき10年後の産業・経済の将来像

- 1 市民や来訪者が楽しく買い物し、自然・文化・スポーツを満喫できるまち
- 2 自然の恵みと都市の魅力が実感できるまち
- 3 女性やシニアがいきいきと働き、暮らせるまち
- 4 ヒト、モノ、情報の交流拠点となり、世界に向かって成長するまち
- 5 創業者や新しい取組みに意欲的に挑戦する民間事業者が集うまち

## 産業振興の基本方向

1

### まちを「楽しむ」産業の振興

- 都市観光の振興
- 体験型観光、産業観光の振興
- 空港、港を活用した国際的観光の振興
- コンベンション都市の振興
- 新しい観光の拠点づくり
- 中心市街地や商店街の魅力向上

2

### 生活の質を高める産業の振興

- マーケットを重視した事業展開の促進
- 豊かな生活を実現する産業の振興
- コミュニティ・ビジネスの振興

3

### 次代を担う産業集積の構築

- 健康・医療、情報、環境関連産業の育成と集積促進
- 清水港を核にした物流クラスターの強化
- 企業等の誘致

4

### チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成

- 創業支援
- 新事業進出、新製品・技術開発支援
- プロフェッショナル人材の育成・充実
- 技能や働く楽しさの承継

## 戦略プロジェクト

- 1 静岡の魅力パワーアッププロジェクト
- 2 既存産業活性化プロジェクト
- 3 新産業創造プロジェクト



# 静岡市が目指すべき産業・経済の将来像

静岡市が目指すべき10年後の産業・経済の将来像を次のように定めます。

## 1 市民や来訪者が楽しく買い物し、自然・文化・スポーツを満喫できるまち

- 市民や来訪者を意識した中心市街地整備やコミュニティの再構築が進み、多くの人々が集まってくる
- 自然資源や歴史・文化資源、産業資源がネットワーク化され、国内外から観光客をひきつけている
- 一流の演劇や文化・経済フォーラム、エスパルス・ブランドを生かしたスポーツイベントが開催され、全国に向けて情報発信されている

## 2 自然の恵みと都市の魅力が実感できるまち

- 森や海が、都市に住み働く人々がリフレッシュできる憩いと遊びの空間となっている
- 安心・安全な農林水産物が生産され、地産地消が展開されるとともに、静岡ブランドを確立して広く市外にも供給されている
- 人材育成・供給機能や文化・娯楽機能などの高次都市機能が厚い集積をみせる

## 3 女性やシニアがいきいきと働き、暮らせるまち

- 女性が、生活者の視点から新たな製品やサービスを創造し、ビジネスを展開している
- シニアは、長年培ってきた経験や知識、知恵を活かしてビジネスを展開している

## 4 ヒト、モノ、情報の交流拠点となり、世界に向かって成長するまち

- 清水港は国際物流・交流拠点としての地位を高め、環境関連産業などが集積するようになっている
- JR東静岡駅周辺の新都心は、情報関連産業や生活文化関連産業等が集積し、多くの人・情報が行き交っている

## 5 創業者や新しい取組みに意欲的に挑戦する民間事業者が集うまち

- 「日本で一番創業しやすいまち」となり、創業を志す者が市内外から集まってくる
- ものづくり産業は、取引先の競争力強化に貢献する高付加価値技術・製品を創り出している
- 地域・伝統産業等を中心に、ライフスタイルに応える「本物」を開発し、その価値が世界で認められている
- 「フーズ・サイエンスヒルズ」\*事業を核に、健康・医療関連ベンチャー企業や機能性食品が次々と誕生している



※地域の大学等と企業が連携して新技術シーズ（種）を生み出し、健康・医療産業に関するベンチャー企業や新規事業の創出、産業競争力の育成を目指す事業。静岡中部エリア（静岡市・焼津市）が、文部科学省より都市エリア産学官連携促進事業（※2参照）の採択を受けた



# 産業振興の基本方向と振興方策

産業・経済の将来像を実現するために、次の4つの基本方向に沿って、様々な産業振興

## 1 まちを「楽しむ」産業の振興

### 1 都市観光の振興

- ① 歴史文化資源の発掘・ネットワークの推進
- ② 文化産業の誘致・育成
- ③ 景観等に配慮した公共サイン等の整備
- ④ IT技術を活用した交通利便性の向上
- ⑤ 域内消費の活性化

### 2 体験型観光、産業観光の振興

- ① 体験型観光プログラムの開発、誘致活動の推進
- ② 都市山村交流センター等の整備・活用
- ③ 産業観光の啓発、促進

### 3 空港、港を活用した国際的観光の振興

- ① 海外に対する誘客の促進
- ② 憩い、交流の場としての清水港の活用

### 4 コンベンション都市の振興

- ① コンベンションの推進
- ② 観光案内機能の強化
- ③ 来訪者へのもてなしの心の醸成と体制づくり

### 5 新しい観光の拠点づくり

- ① 日本平の観光拠点整備
- ② エリア別観光振興の推進

### 6 中心市街地や商店街の魅力向上

- ① 都市の生活文化を楽しめる中心市街地づくり
- ② 商店街の賑わい創出
- ③ 中心市街地の整備





# Shizuoka city

方策に取り組んでいきます。

## 2 生活の質を高める産業の振興

### 1 マーケットを重視した事業展開の促進

- ①消費者ニーズを踏まえた新製品、新サービス開発の促進
- ②見本市・販路開拓支援

### 2 豊かな生活を実現する産業の振興

- ①農林水産業が産業として自立・成長できる環境づくり
- ②地産地消の促進
- ③環境と調和した農林水産業の推進
- ④地域・伝統産業の近代化推進

### 3 コミュニティ・ビジネス<sup>\*1</sup>の振興

- ①コミュニティ・ビジネス、NPOなどの育成、支援
- ②仕事と子育ての両立、障害者の自立支援



## 3 次代を担う産業集積の構築

### 1 健康・医療、情報、環境関連産業の育成と集積促進

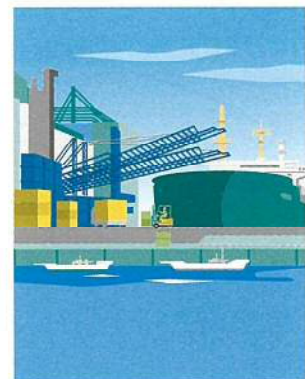
- ①都市エリア産学官連携促進事業<sup>\*2</sup>を活かした産業の創出推進
- ②しずおかコンテンツバレー構想<sup>\*3</sup>の推進
- ③電子市役所の実現、高速回線の整備促進
- ④駿河湾地域の循環型社会の推進構想<sup>\*4</sup>の推進

### 2 清水港を核にした物流クラスター<sup>\*5</sup>の強化

- ①ポートセールス<sup>\*6</sup>の推進
- ②物流機能の高度化推進

### 3 企業等の誘致

- ①企業・研究所の立地推進





## 4 チャレンジ精神に富む人材・企業の輩出、育成

### 1 創業支援

- ① インキュベート機能の強化
- ② 大学発ベンチャー<sup>※7</sup>の育成
- ③ 市役所における業務の外部委託の推進

### 2 新事業進出、新製品・技術開発支援

- ① 産学官、異分野交流事業の推進
- ② 開発型企業の育成
- ③ 専門的な産業支援機関との連携による支援
- ④ 再チャレンジに向けた支援

### 3 プロフェッショナル人材の育成・充実

- ① 高度な職業知識や技術の習得の推進
- ② 企業的経営の視点を持った農林水産業者の育成

### 3 技能や働く楽しさの承継

- ① 起業教育の推進
- ② インターンシップの促進
- ③ 若者への就労支援の推進



#### 用語説明

##### ※1コミュニティ・ビジネス

地域住民が主体となって、地域の課題をビジネスの手法を用いて継続的に解決していく事業

##### ※2都市エリア産学官連携促進事業

都道府県等の都市エリアを対象に、産学官連携を促進して新規事業等の創出、産業競争力の育成を目指す文部科学省の事業

##### ※3しずおかコンテンツバレー構想

コンテンツ（音楽、映像、出版など情報の中身）産業の振興を図るため、地元情報産業界・大学・行政等が合同で方向性を検討している計画

##### ※4駿河湾地域の循環型社会の推進構想

駿河湾地域周辺に広がる海洋資源等に、大学が持つ技術シーズと各種産業が有する様々な基盤技術を組み合わせることにより、資源循環型地域を実現する新規産業の創出を目指す構想

##### ※5クラスター

特定分野の関連企業、関連機関等が地理的に集中し、競争しつつ同時に協力している状態

##### ※6ポートセールス

港湾管理者等による航路誘致等を目的とした広報、宣伝等の活動

##### ※7大学発ベンチャー

大学等の研究成果を技術シーズとして、新しい事業を行ったり、創業する事業主体のこと



# 戦略プロジェクト

本プランが掲げる3つの視点に基づいて、次の3つの戦略プロジェクトを推進します。さらに、各プロジェクトが必要とするマーケットや人材・知識・ノウハウ・資金等をスムーズに獲得しうるように、各推進主体と行政が一体となり、本市の魅力や取組みを全国や海外に発信する「シティプロモーション」(広告宣伝)活動を実施していきます。



## プランの推進に向けて

- 本プランは、平成26年度(2014年度)を最終目標年度とする10年間の計画です。
- 本プランは、民間事業者、大学、商工会議所等の産業支援機関・団体、行政が、連携と役割分担により推進していきます。
- 事業には事業化時期や数値目標を設定し、進行管理や成果の評価を行い、効率的かつ効果的な推進を目指します。また、社会経済環境の変化にも対応するよう、5年を目途にプラン全体の見直しを図ります。

発行/平成17年3月

発行者/静岡市

編集/静岡市経済局商工部産業政策課

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

電話 054-221-1375

ホームページ <http://www.city.shizuoka.jp/>

(平成17年4月から)

**r100**  
古紙100%の再生紙を使用しています

**PRINTED WITH  
SOY INK**  
環境にやさしい大豆油  
インクを使用しています